

Sea&Air(シー・アンド・エア)実証実験について

我が国における国際トランジット型Sea&Air(シー・アンド・エア)輸送の導入可能性を検討するため、アジア(中国)発～阪神港・関西国際空港経由～欧米向けSea&Air輸送の実証実験を実施。

実験概要

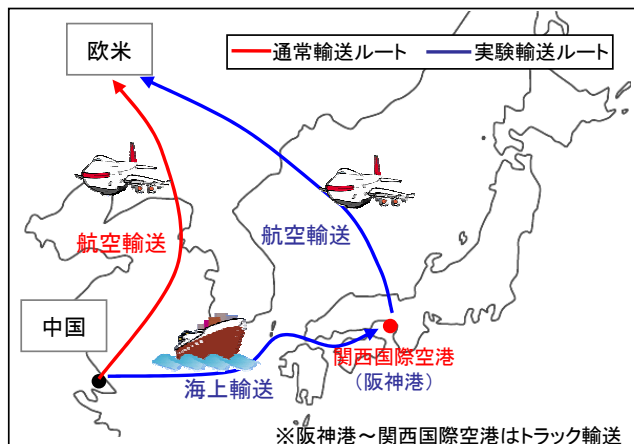
実験期間:平成20年12月～平成21年2月(期間中2～3回程度実施予定)

対象貨物・仕向地:ソニー中国工場で製造される電子製品(欧米向け)

輸送量:1回当たり20フィートコンテナ1本程度(4～5トン程度)

輸送ルート:輸送スケジュール(例)参照(通常、中国より欧米へ航空直行便で輸送している貨物を阪神港・関西国際空港経由のSea&Airで輸送)

※対象貨物、仕出地、仕向地の詳細は現在検討中(複数のパターンを検討)



検証内容

想定される主な課題

定時性・速達性

行政手続の手間

輸送・コンテナ積み替えに伴うダメージ

主な検証事項

輸送スケジュールと実際の輸送時間との乖離を確認

Sea&Air輸送により増加する手続(手間)を確認

輸送時及び荷役時に生じる貨物への振動、衝撃を確認

輸送スケジュール(例)

ソニー 中国工場	上海港	阪神港(大阪港) 本船 CY	関西国際空港 航空会社上屋	アムステルダム	ソニー オランダ倉庫
1日目(木) 12:00 出発	3日目(土) 14:00 出港(予定)	5日目(月) 12:00 入港(予定) 14:00 蔵置引渡 陸揚	5日目(月) 18:00 搬入 荷卸し 7日目(水) 23:00 搬出 搭載 8日目(木) 1:10 出発(予定)	8日目(木) 05:10 到着(予定)	8日目(木) 15:00 配送(予定)
海上輸送(コンテナ船)		トラック輸送		航空輸送	トラック輸送